SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：九州電機工業株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営基本方針（社是・企業理念）を明文化し、社内複数個所に掲示し、従業員に共有している。 ・従業員は、社長面談（2回/年）を通じ、自己の使命を認識し積極的に実行している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・就業規則等に法令順守に関する条項を定めている。 ・全体朝礼（毎月1回）等において具体的な事例を示すなどし随時、啓発を行っている。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に努め、適時、従業員に対しその重要性を発信している。 ・不公正な契約（取引）となっていないか、契約決裁時等においてチェックを行っている。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・自らの事業活動が社会・環境に及ぼす正と負の影響（可能性）を把握し、社長が出席するベクトルミーティング等で検討している。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		【予定】2021年度中に特許、商標、著作権などの侵害排除に関する規定を作成する。								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報保護規定を設けている。 ・研修会を定期的に開催するなどし、情報漏洩防止を徹底している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・顧客へのこまめな訪問もしくは電話連絡などにより、顧客からの要望、苦情等を収集するなどコミュニケーションに努めている。 ・取引先や官公庁など、ステークホルダーと連携した取り組みを行っている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・取引先の活動に関心を持ち、こまめに対話を行っている。 ・ゴミの量の削減や人権侵害等への配慮など、問題意識の共有に努めている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・中小企業BCPを策定中である。 【2021年度上期完了予定】 ・地震や火災などの災害に備え、具体的に対策を記載する。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、登用、昇進、福利厚生など、あらゆる雇用条件および職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。 ・差別や各種ハラスメントの禁止について就業規則に定めている。 ・差別やハラスメントに関する研修を実施し、相談窓口を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全衛生管理者を配置し、定期的に安全衛生委員会を開催し、委員による職場巡回を実施している。 ・健康経営優良法人（中小規模法人部門）2021ブライト500に認定されている。 ・毎年全従業員を対象にストレスチェックを実施し、結果の分析を行っている。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員（正社員・JOB型社員・契約社員・パート社員）の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・時間外労働を行う場合には、事前に社員が上長に申告し、上長認めた場合にのみ実施するなど社員毎に適正な時間外労働時間の管理を行っている。 ・就業規則に勤務時間インターバル制度を定め、過重労働とならない取組みを行っている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・社員が社長との面談時（2回/年）において期間内に取得するスキル、資格の目標を定めている。 ・OJTによる育成をはじめ、資格取得などに必要な社外講習等を必要に応じ社費で支払い受講させている。 ・資格取得に必要な受験料等を必要に応じ社費で支払っている。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康経営優良法人（中小規模法人部門）2021ブライト500（経済産業省）、スポーツエールカンパニー2021（スポーツ庁）や協会けんぽヘルスターに認定されている。 ・全体朝礼（1回/月）において交通安全や受動喫煙防止に関する注意喚起を行っている。 ・毎年、定期健康診断の100%受診を達成し、インフエンザ予防接種の経費補助を行っている。 ・新型コロナウィルス感染症ワクチン接種（2回）を受ける日は特別休暇としている。			3					8									17

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：九州電機工業株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等において性別や年齢の違いによる差別的待遇はない。 ・毎年、ひのくに高等支援学校等から現場実習生を受け入れ、当社業務にマッチングし入社を希望した生徒を採用している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・社外（お客様等）対応は、極力Web会議システムにより打合せを行っている。 ・全社員に不織布マスクを配布し、社員間に衝立を設置している。 ・会議室の窓開け、事務室・工場の換気に十分配慮している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・RPA導入で事務処理の自動化する。 ・ICタグによるトレーサビリティの確立で情報を一元管理する。 ・電話機修理に関する問合せをチャットボットサービスによる対応で業務効率化を図る。 ・テキストをOCR読取で情報をデータ化する。 【完了予定：2022年3月末まで】 ・ICタグによるトレーサビリティの確立で情報を一元管理する。 ・電話機修理に関する問合せをチャットボットサービスによる対応で業務効率化。 ・テキストをOCR読取で情報をデータ化する。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	・ブライト企業の認定を受けている。			3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：九州電機工業株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・有害化学物質（PCB入り変圧器等）を把握し、適切な管理を行っている。 【2021年度中に適切に廃棄予定】 ・鳥害獣により荒らされないワンタッチごみステーション等を製造・販売している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてエネルギー使用料を算出・把握している。 ・太陽光パネルを設置し、社内の節電に取組んでいる。 ・順次、社用車の車検切れ時においてEV車もしくはハイブリッド車に更新する予定である。 ・社内の照明を随時LEDランプへ変更している。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いて温室効果ガス排出量を算出・把握している。 ・太陽光パネルを設置し、CO2排出の抑制に取組んでいる。 【予定】 ・2021年度中に車検切れを迎え、購入から10年となる社有車（ガソリン車1台）をハイブリッド車に更改する予定である。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業活動や従業員の生活において、廃プラやレジ袋の使用削減に努めている。 ・環境に配慮した製品、サービスの提供を通じて、生物多様性の保全に努めている。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・事業としてリユース、リサイクルを行っている。 ・再生用紙の利用を推進している。 ・会社内における資源利用の削減や再利用を推進している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・「節水」や「汚水等の適切な処理」等を行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・事業としてリユース、リサイクルを行っている。 ・中古機材から再利用できる部品を抽出し利用している。 ・再生用紙の利用を推進している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・建物（事務所・工場等）外周に植栽を行っている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・太陽光パネルを設置し、節電に取組んでいる。 ・老朽化し効率の悪い工場建屋の建替えを行い空調・照明設備を省エネタイプに更改する予定である。【2022年第2四半期竣工予定】 ・老朽化した大型加工装置は2021年度から逐次省エネタイプに更新する予定である。 【2021年度より予定】							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	・工場の建替えにおいては県産材の利用を推進する。 【2021年第3四半期着工、2022年第2四半期竣工予定】						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・事業活動や従業員の生活において、廃プラやレジ袋の使用削減に努めている。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：九州電機工業株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。 ・製品安全確保を踏まえた取り扱い説明書を作成している。 ・お客様に高い満足感を与えるよう、販売する製品の品質を向上させるためお客様から意見の聞き取りを行い社内においてその共有を図っている。			3.9						9			12.4				
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・販売する製品がお使いになるあらゆるお客様にとって使い勝手がよいものとなるよう、設計・製造時において創意工夫をしている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・請負（製品加工等の発注）は地場企業を優先している。 ・工場の建替えにおいては県産材の利用を最優先とする。 【2021年第3四半期着工、2022年第2四半期竣工予定】		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・工場の建替えにおいては、天井や床、壁等の内装や外壁等に可能な限り県産材を使用し、木質化を推進する。 【2021年第3四半期着工、2022年第2四半期竣工予定】							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・当社で製造するワンタッチごみステーション等を廉価で販売し、ごみ置場における鳥害獣被害防止の一助となっている。 ・当社で製造する次亜塩素酸水や足踏み式除菌液スタンド等を製造・販売し、新型コロナウィルス感染症感染防止に貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	・ドローン等ロボットの新技術の活用により、農作業（消毒液や肥料散布）の効率化、生産性の向上に努めている。		2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・2020年に発生した熊本県南部大水害においてマスク等を寄贈した。 ・地域事業者として地域の商工会や自治会等の活動に参画している。 ・従業員は、グループ企業の主催する清掃作業に参加している。 ・地域が抱える課題解決のため、寄付を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・工場の建替えにおいては災害対策（耐震性、防火性等）を十分考慮した材料を使用した構造とする。 ・定期的（12月28日仕事納め式前）に避難訓練を実施している。 ・AEDを設置している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・地域の事業者として社会的責任を果たすよう努めている。 ・熊本県南部大水害においてはマスク等を寄贈し、社員がボランティア活動を行っている。 ・従業員が、地域の消防団に加入している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・工事現場において歩行者に注意喚起を行う装置「テルセーフティー」を開発・製造・販売している。 ・グループ会社へ非常事態発生時において使用する物品を販売している。 ・災害発生時に避難場所で複数の人が同時に使用できる「簡易型Wi-Fi移動装置」を開発・製造・販売している。									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・従業員に対しSDGsに関する研修を実施し、意識の浸透を図っていく予定である。 【2021年度中2回】	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・毎年度、高校生のインターンシップや近隣の中学生のナイストライ、ひのくに高等支援学校等から現場実習生を受け入れている。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元の生徒を積極的に雇用している。 ・県内出身者の中途採用を行っている。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。